

## 私たちが変わり 私たちが変える 「エコシティふっさ」の実現に向けて

自然や文化が守られ、人と暮らしが大切にされている、そのために一人ひとりが環境と生活が両立する前向きなアクションをとっている・・・そんな「エコシティふっさ」のため、これからの10年で次のような姿を目指します。

### 気候変動

- 2050年脱炭素に向けた民生部門での取組が進展している。
- エネルギー効率を高め、可能な限りの再エネ生産、他地域からの再エネ供給が進んでいる。
- 将来の気候変動影響への認識が高まり、健康被害や災害への備えが浸透している。

### 生物多様性

- 生物多様性への認識が高まり、緑や生き物のすみかを増やす・守ることや水循環を意識した暮らし・仕事が営まれている。
- 樹林地や公園などの緑の拠点と、まちなかの小さな緑が連続して、緑のネットワークが形成されている。
- カワラノギクなど市内の貴重な動植物への認識が高まり、保全活動が盛んに行われている。

### 資源循環

- プラスチックごみ、食品ロスを抑制する仕組みがある（売り方・買い方の双方に取組がある）。
- 資源化までを意識した適正な分別排出が浸透し、収集した資源が有効に活用されている。
- 近隣自治体との広域連携による資源の融通・循環に向けた動きが進んでいる。

### 安心・安全

- 清潔で気持ちよく散歩できるまちになっている。
- 福生らしい眺めを大事にした景観が形成されている。
- 騒音や大気汚染などの問題が改善されている。

### 環境学習 人材育成

- 環境に関する情報発信・学習の拠点がある。
- 環境活動やまちづくり活動に多様な層が参画する仕掛けとしてのポイントシステムが機能している。
- あらゆるレベルでのコミュニティ活動が活発に動いている。

### 気候変動への 対策

- |                                    |   |
|------------------------------------|---|
| (1) 気候変動の緩和<br>福生市地球温暖化対策実行計画区域施策編 | ①脱炭素型ライフスタイルの推進<br>②事業者の取組支援<br>③公共施設の取組<br>④交通の脱炭素<br>⑤まちづくりにおける脱炭素<br>⑥都市間連携による取組推進 |
|------------------------------------|---|

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| (2) 気候変動適応策<br>福生市地域気候変動適応計画 | ①気象災害への備え<br>②健康被害への備え<br>③気候変動影響の情報収集 |
|------------------------------|--|

### 生物多様性の 保全・回復

福生市生物多様性  
地域戦略

- |                  |   |
|------------------|---|
| (1) 核となる自然の保全・再生 | ①多摩川の自然再生<br>②カワラノギクの保全<br>③樹林地などの保全<br>④公園の緑の保全      |
| (2) まちなかの自然の創出   | ①花や緑のあるまちづくり<br>②生き物との共存<br>③都市における水循環の形成<br>④都市農地の保全 |
| (3) 生物多様性への理解促進  | ①生物多様性に関する学習機会の拡充                                     |

### 循環型 社会づくり

- |                      |  |
|----------------------|--|
| (1) ごみの発生抑制          | ①ごみを出さない買い方・暮らし方の推進<br>②食品ロス削減の推進<br>③公平な負担の検討 |
| (2) 適正分別・収集          | ①プラスチックごみ削減の推進<br>②ごみ・資源の分別・収集ルールの徹底           |
| (3) 資源化の徹底           | ①資源化ルートの確保                                     |
| (4) 事業系廃棄物の減量        | ①事業者の取組の指導                                     |
| (5) ごみ・資源に関する学習機会の提供 | ①小学校における教育の充実<br>②地域での学習の支援                    |

### 安心安全な 生活環境

- |                 |  |
|-----------------|--|
| (1) 美しいまちの維持    | ①まちなかの美観の保持<br>②美しいまちかどの維持<br>③空き家対策         |
| (2) 歴史的景観の保全・活用 | ①熊川分水の保全<br>②玉川上水沿いの自然の保全<br>③景観の保全・活用に関する協議 |
| (3) 公害の防止       | ①公害抑止のための監視・指導                               |

### 環境保全を担う 人材育成

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| (1) 将来世代の育成       | ①学校における環境学習の推進 |
| (2) 現役世代のエンパワーメント | ①地域における学習機会の充実 |
| (3) 環境学習の拠点づくり    | ①環境学習の拠点づくり    |

### 参加の動機付け

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| (1) ポイントシステムの構築 | ①ポイントシステムの構築 |
|-----------------|--------------|

### 脱炭素へ向けた取組を支援する

- ✓ 住宅・建物の断熱化を推進したり、太陽光発電などの再エネ機器、高効率家電などへの買い替えを促進します。
- ✓ 再エネ比率の高い電力会社への切り替えを支援します。

### 生物多様性の理解・行動を広める

- ✓ 生物多様性保全のシンボルとして「カワラノギクプロジェクト」を継続し、参加の輪を広げます。



### ごみを出さないライフスタイルを広める

- ✓ 物を買すぎない・持ちすぎない、廃棄時のことも考えた製品選択など、ごみの排出抑制に向けた情報提供をしていきます。
- ✓ 食品ロス削減と生活困窮者支援につながるフードドライブを実施します。

### 美しいまちかどを維持する

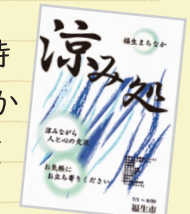
- ✓ 家庭ごみ収集運搬委託業者と連携したポイ捨てごみの回収や、道路美化ボランティア制度、マナーアップ指導員の活動などにより、清潔で美しいまちづくりの推進を図ります。

### 学校でも地域でも学びの機会をつくる

- ✓ 地域の特色を生かした学校独自の環境学習の取組を支援します。
- ✓ オンデマンドなど多様な手法を検討し、あらゆる人の学習意欲を引き出す環境学習講座を企画します。
- ✓ 環境学習の拠点づくりを検討します。

### 気候変動のリスクに備える

- ✓ 自然災害に備え、市民一人ひとりの防災行動を促進します。
- ✓ 熱中症にならないよう、イベント時の対策や公共施設での「まちなか涼み処」の展開、緑地・樹木の確保を進めます。



### 小さな緑を増やす

- ✓ 花いっぱい運動や、自宅のできる緑化（庭木・生垣・花壇・菜園）を推進します。

### プラスチックごみ削減において連携する

- ✓ ECO FRIENDLY認証制度を通じて事業者働きかけ、プラごみ削減の取組（マイボトルへの給水、持参容器での食品販売など）を促進します。



### 玉川上水・熊川分水を保全・活用する

- ✓ 熊川分水の景観重要資源指定箇所における維持活動を継続し、市内外へ向けたPRを展開します。
- ✓ 玉川上水の観光誘致に向けて、自然・生態系を含む情報発信を強化します。



## ～市民・事業者のみなさんへ～

### いつもの暮らしや仕事で未来をはぐくむアクションリスト

「エコシティふっさ」を実現するには、行政・市民・事業者がそれぞれの立場で、また時には協働して、環境について考え、行動することが必要です。ここでは、市民や事業者の皆さんが、日々の暮らしや仕事の中で取り組めるアクション（行動）の例を掲載しています。いつもの暮らしやなりわいの中で実践できることを一つでも多く増やしていただくことで、暮らしながら・働きながら持続可能な地域づくりに貢献できるライフスタイルに近づきます。

#### 《気候変動を意識したアクション》

- ・ 建物の断熱性能を高め、寒さや騒音の解消と省エネを両立しましょう。
- ・ 太陽光発電や蓄電池、太陽熱利用システムの導入を積極的に検討しましょう。災害対策にも有効です。
- ・ 価格だけでなく、再エネ比率を意識して電力会社を選びましょう。
- ・ 気象災害のリスクは市内全域で様々にあります。日ごろから備えましょう。
- ・ 熱中症予防のため、地域で声を掛け合いましょう。

#### 《生物多様性を意識したアクション》

- ・ 洗車時に洗剤を流したり、雨水ますにごみを捨てたりしないようにしましょう。
- ・ 庭やベランダで家庭菜園やガーデニングに取り組みましょう。肥料や除草剤、防虫剤の使い過ぎに気を付けましょう。
- ・ 敷地全面をコンクリートで覆わない、植栽を設けるなど、雨水浸透や緑の確保ができる土地の使い方を意識しましょう。
- ・ 自然体験や公園・緑地管理のボランティア活動などに参加し、身近な自然を守りましょう。



#### 《循環型社会を意識したアクション》

- ・ 「できるだけごみを出さない」ことを考えた買い物の仕方を意識しましょう。
- ・ 使い捨て商品ではなく、長く使える質の良い製品を選びましょう。
- ・ 事業所では、プラスチック包装材を紙や木材などに切り替えましょう。
- ・ 小売店・飲食店では、お客さんが持参した容器で総菜を販売する、マイボトルに給水するサービスを行うなどの取組を検討しましょう。



#### 《生活環境を意識したアクション》

- ・ 生活や事業活動の中で、騒音・振動・悪臭や水・空気の汚染などが生じないように配慮しましょう。
- ・ ごみのポイ捨てや歩行喫煙をしない・させないため、自宅や事業所周辺の清潔の保持に努めましょう。
- ・ 外国人住民の比率が高まっていることを受け止め、文化の多様性をリスペクトして積極的に交流しましょう。